



発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

地域組織の確立で
会員間の絆の促進を

山積する課題を、あせらず、おくせず ひとつひとつ前進させよう

組織内候補予定者・田中ひさや副会長の推薦を決定

9月5日(火)、JAMシニアクラブは東京田町の友愛会館で役員・代議員69人が出席して第9回定期総会を開催した。総会では現役役員
の強力な支援と協力を得ながらシニア会員8千人台への回復と1万人
の早期実現をめざすこと、高齢者の暮らしを守る政策制度要求を全国
レベルの取り組みとすること、田中ひさや政策実現活動の推進を柱と
する2018年度活動方針を決定し、新年度本部役員を選出した。

総会には木村正次副会 団には長岡功(千葉)、議員を選出した。
長の挨拶で開会、議長 吉永良一(大阪) 両代 総会冒頭、主催者挨拶
選挙組織内候補に「田



撻で大山勝也会長は、JAMが臨時中央委員
会で第25回参議院議員
選挙組織内候補に「田

JAMは、田中ひさや副会長を候補
者に擁立し、2019年7月投票の
参議院選挙の取り組みを始めています。
JAMシニアクラブは、田中ひさや候
補を推薦し、その必勝に向け取り組
みます。

1400億円カットに引き続いて、18
年度は報酬改定などで1300億円カッ
トしようとしています。そのために、
たとえば要介護1、要介護2の生活援
助について使いづらいものにするこ
とが検討されています。

安倍政権は、特定秘密保護法、安全

退職者連合は、日本の核兵器禁止条約
参加を求める取り組みについて連合に
申し入れています。北朝鮮の核・ミサ
イル開発は絶対に容認できません。核
兵器は絶対悪であり、甚大な被害をも
たらす戦争は絶対に避けなければなり
ません。

安倍政治に終止符を打つ

国政選挙で政治を変えよう

JAMシニアクラブ会長 大山 勝也

18年度は介護報酬と診療報酬の改定
が同時に行われます。安倍政権は、高
齢化などによる社会保障費
の自然増につ
いて16年度の
1700億カッ
ト、17年度の

保障関連法、共謀罪の趣旨を盛り込ん
だ改正組織犯罪処罰法を成立させ、集
团的自衛権行使の自衛隊を明記する9
条改憲への動きを強めています。
また、安倍首相は、国連が採択した
核兵器禁止条約について署名、批准を
行う考えはないことを明言しています。
取り組みます。

会長挨拶



18年度は介護報酬と診療報酬の改定
が同時に行われます。安倍政権は、高
齢化などによる社会保障費
の自然増につ
いて16年度の
1700億カッ
ト、17年度の

先の通常国会
では、森友学園、
加計学園、南スー
ダン派遣の日報
問題で、「疑惑・
隠ぺい」の安倍
政権の実像が露
呈しています。

中ひさや副会長」を擁
立することを決定した
ことにふれ、「シニア
として必勝に向けて取
り組んでいく」と強調。
そのうえで、安倍政権
が長時間労働を可能と
する法案の一本化や社
会保障の改悪など一強
多弱のなかで進める傍
若無人な国会運営に
「隠蔽体質が露呈した
ことで不支持が支持を
上回る安倍政権にノ

を突きつける総選挙と
参議院選挙への全国レ
ベルの取り組みを進め
ていく」と挨拶した。
来賓のJAM椎木盛
夫副書記長は組織内候
補擁立の経過と田中ひ
さや副会長の紹介挨拶。

夫事務局長は社会保障
費を概算要求額からさ
らに減額しようとする
安倍政権を批判。「こ
のままでは子供の将来
世代が大変なことにな
る。3400万高齢者
がボチボチ何とかしよ
うではありませんか」
と政治の流れを変える
シニアの行動を促した。

その後、活動経過報
告と会計・決算を承認、
「田中ひさや」副会長
の推薦を満場一致で決
定。登壇した田中ひさ
や副会長は、組織内国
會議員が不在のため組
合員の要求が国会に届
かない悔しさを強く感
じている例をあげ、
「様々な指摘を受けな
がらしっかりと期待に
応えていきたい」と力
強く決意を語り会場か
ら万雷の拍手を受けた。

議案討議では参院選
挙におけ↓2面へ続く



**JAM参議院組織内候補予定者
田中ひさや副会長の推薦を決定**

JAMは2019年参議院比例区に組織内
予定候補として、「田中ひさや」副会
長を擁立することを決定した。これを受
けてJAMシニアクラブは第9回定期
総会で、「田中ひさや」副会長の推
薦を決定した。現役と共に必勝に向け
て支援していきましょう。



る他産別との連携の重
要性と地方への情報提
供を要望する発言があ
り、本部から現時点の
報告と今後逐一地方に
情報提供していくこと
が確認された。

組織拡大ではJAM
シニアクラブ未加入の
単組シニア組織(実態
調査による137組合)
に対して、アンケート
で明らかになった点を
ふまえ、現役とシニア
が連携してシニア組織

が何をやっていけるかな
ど現退双方から加入に
向けて働きかけていく
ことが必要、との答弁
がされた。また、シニ
アユニオンの付則等へ
の記載については詳細
を整理して検討してい
くこととした。

その後、新役員を承
認、今期で退任する田
子恵一前副会長(埼玉)
への感謝表彰を行い、
橋村良夫顧問への委嘱
が拍手で承認された。

○三役
会長・大山勝也(本部)、
副会長・木村正次(京
都) 那珂通敏(埼玉・
新) 豊泉則幸(本部・
新)、事務局長・大野
弘二(本部) 事務局次
長・平木和裕(本部)

**女性幹事に増子正子
(東京) さんを選出**

**川 組織拡大など活動方針を確認
石 新年度役員13人を選出**



JAM石川シニアク
ラブは、8月18日(金)、
石川県金沢市の「労済

木村 誠 通信員

会館」にて第17回定期
総会を開催した。
冒頭、山村信一代表
幹事(大同工業
退職者会)の挨拶
に続き、JAM
シニアクラブ
大山勝也会長、
石川県退職者連
合宮下直之会長

をはじめとする6名の
来賓が祝辞を述べた。
報告事項では、201
7年度の活動、決算・
会計監査について報告
があり確認された。
議案事項では、20
18年度活動方針(案)
が提案され、石川シニ
アクラブとして、現役
と連携をしながら組織
拡大に取り組むことや、
政策制度への協力につ
いて、満場一致で承認
された。
また、2017年10



月に行われる加賀市
議会議員選挙に出馬予
定のJAM組織内議員
「上田ともかず」(無・
現1期)の必勝決議案
が提案され、当選に向
け全力で支援してい

ことを満場一致で承認
した。併せて、JAM
組織内参議院議員候補
「田中ひさや」の擁立
にも触れ、今後各機関
会議を経て推薦決定し
ていくことを確認した。
定期総会終了後には
昼食懇親会が行われ、
参加した会員35人は、
互いの近況など話に花
をさかせた。
今回の定期総会では、
役員改選に伴い1名が
退任し、新役員13人が
満場一致で信任された。

**岡 親睦・交流中心の行事に
静 経験を生かした選挙応援など**



JAM静岡シニアク
ラブの正式名称は「J
B会」、会員範囲を単
組役員経験者
(執行委員以上)
としている。
会員数は今年
7月末現在98人、
ほとんどが個人
加盟の形態をとつ
ている、静岡県
は東西に長く、
行事等を行うに
も費用や時間が
ネックとなり、
思うように参加

の輪が広がらないこと
がネック。そこでシニ
ア機関紙を年6回程度
発行し、会員情報をこ
まめに伝え、会議、行
事報告も併せて記載し
評判のよい機関紙となっ
ている。これに加え、
JAM静岡の家庭版機
関紙も発送し、現役世
代の組合活動も知らせ
ている。
機関会議は総会、幹事
会(年5回程度)、行
事は、春・夏・秋のグ
ラウンドゴルフ大会、
小旅行やウォーキング
を行っている。更に3
年目となるJAM静岡
役員との交流を地区協

単位で行っていること
も特徴。選挙活動にお
いても証紙貼り、ポス
ター裏打ち、専従応援
と今までの経験を生か
した活動も行っている。
課題の会員拡大、行事
への参加者拡大もJAM
静岡構成組合の協力を
いただき少しずつ前
に進めている。会の最
大の目的は「親睦と交
流」にあり、
「あんなことがあった」
「こんなことがあった」
と会員同士が交流しな
がら、健康で長生きで
きる一助となればと活
動している。